

マルチ圧縮フォーマット シネサーバー



2D、3Dに関わらず、様々なプロジェクターで映画コンテンツを上映することができます。コントロールパネルによる操作は簡単でわかりやすく、劇場で上映プレイリストの編成ができます。

JMN3000がネットワーク接続で集中管理されている場合、その管理用サーバー上で番組を作成し、できあがった上映プレイリストをネットワークを経由して、JMN3000にダウンロードすることができます。

ネットワークの接続

- 上映プレイリストの作成とダウンロード、コンテンツのスケジューリング、および劇場内関連機器のモニタリングを担うコダック コンテンツ マネジメント サーバーとのインターフェース
- 上映プレイリストのダウンロード、リモートでのモニタリングと診断、キーの管理、コンテンツの配信を担うコダック ネットワーク オペレーション センターとのインターフェース
- ネットワーク化された入出力モジュールにより、劇場のオートメーションをサポート
- 一つのシネマコンプレックス内で、ロビーのモニターやディスプレイなどを含み最大30スクリーンまでネットワーク接続できる高い拡張性

コンテンツとKDM(Key Delivery Message)の取得

- 外付けドライブ (USB 2.0)
- NAS IP ドライブに接続可能な1Gbイーサネットリンク
- 脱着式SATA ドライブ
- DVD-ROM、CD-ROM

コダックのシネサーバー『コンテンツ プレーヤー JMN3000』は、ネットワーク構成で使用することができ、その場合、コダックネットワークのパフォーマンスや効率を最大限に生かすことができます。また、ネットワーク構成でなくスタンドアロン機として運用することも可能です。

コダック カラー サイエンス テクノロジーの採用に加え、JPEG 2000フォーマットで圧縮され、MXFでパッケージングされたデジタル映画 (DCI推奨技術仕様) を最高250Mbpsで上映、MPEG-2フォーマットで圧縮され、MXFでパッケージングされた2D/3Dコンテンツを80Mbps (3Dの場合は160Mbps) で上映可能など、JMN3000は、優れた柔軟性を持っています。

コダック コンテンツ プレーヤー JMN3000は、コンテンツの圧縮形式を自動的に認識します。

コンテンツのパッケージング

- JMN3000のパッケージング フォーマットは、プレイリストの構成、MXFデジタルシネマ パッケージングなど、現在策定中のSMPTE規格に準拠しています。

映像フォーマット

- 最大4096 × 2160@24Pまでの全てのサイズのJPEG2000画像 (4096 × 2160の時は2Kラスターにリサイズ)
- 最大2048 × 1080@24Pの全てのJPEG2000画像
- 1920 × 1080@24P/23.98PのMPEG2映像
- 1920 × 1080@24P/23.98Pの3D MPEG2映像

映像の圧縮

- JPEG2000
 - 12ビット 4:4:4 (XYZ/ICT変換)
 - 4K/2Kの映像データの圧縮率: 最高250Mbps
- MPEG2, MP@HL/ISO/IEC 13818-2
 - 8ビット 4:2:0/4:2:2
 - 最高80Mbpsまでのデータ圧縮率
 - ビットレート: 可変/一定



プレイリスト

- JMN3000をネットワーク接続で集中管理している場合、コンテンツマネージメントサーバーのグラフィカルユーザーインターフェース(GUI)でプレイリストを作成し、劇場内ネットワークを使ってJMN3000に送信することができます。スタンドアロン機として単独でサーバーを運用する場合は、プレイリストの作成はローカルユーザーインターフェース(LUI)を使って行います。

ビデオ出力

- HD-SDI (SMPTE 292) デュアルリンクとTI CINELINK 物理リンク暗号化処理
 - 3D MPEG :デュアル シングル リンク
 - JPEG2000 :12ビット デュアル リンク
 - 2D MPEG :シングル リンク

コンテンツのセキュリティ対策

- 映像およびオーディオ:128ビット AES暗号化処理
- MXF-INTEROP準拠のKDMをサポート

セキュリティ

- 不正変更の検出、本体カバーのロック、アクセスをパスワードによって制限

オーディオフォーマット

- 最大8チャンネル、24ビット/サンプル、48Kサンプル/秒
- アナログ出力×8、デジタル出力×8(4×AES)
- オーディオディレイは調整可能

インターフェース

- 10/100/1000 Base-T イーサネット インターフェース ポート×2 (操作/ステータスとTI CINECANVAS字幕スーパー用)

内蔵ストレージ

- 信頼性と冗長性に対応するRAIDストレージ
- 記憶容量 1.0TB
 - 80Mbpsでは150分の本編を最大12本保存可能
 - 250Mbpsでは180分の本編を最大3本保存可能

電源

- 各国の電力規格に対応
- 100-240 VAC 50-60Hz (最大消費電力 550W)
- 二重化冗長電源

グラフィカルユーザーインターフェース(GUI)

- 6.5インチ型VGAカラー液晶タッチスクリーン(マウント可能)
- フロントパネルのLEDランプで、電源、温度、ファンの状態を表示

ユーザー機能

- 再生開始、再生再開、一時停止、プレイリストの作成、プレイリストの選択/編成、テストコンテンツの表示、その他

パスワードで保護された管理機能

- 時間設定、プロジェクタータイプの選択、オーディオ音声レベルの調整、パスワードの設定、コンテンツの読み込み、その他

外形寸法・重量

- 5Uラックユニット
- 高さ:438mm(17.25インチ)
幅:216mm(8.5インチ)
奥行:540mm(21.25インチ)
- 重量:16.3kg(36ポンド)-20.8kg(45.8ポンド)
※ただしユニットの構成により、異なる場合があります。

DCI仕様への準拠

コダックは、コダック コンテンツ プレーヤー JMN3000をDCIの推奨技術仕様に完全に準拠させることを目標としています。しかし、現時点では、準拠すべき規格が確立されていません。今後、SMPTEがデジタルシネマの規格を発表し、独立した第三者機関が、その規格に適合しているという認証を行うまでは、仕様に完全に準拠していると言える製品や製造メーカーは存在しません。コダックは、準拠すべき規格が決定され、認証の取得が可能になった時点で、JMN3000を規格に完全に準拠させるため、必要なソフトウェアとハードウェアのアップグレードを行う予定です。なお、アップグレードは有償の予定です。

コダックは、多くの劇場にネットワーク化されたデジタルシネマのソリューションを提供し、何百ものスクリーンにおいてチケットティングシステムとオートメーションを接続し、日々、完璧かつ確実な上映をお届けしています。デジタル化に向かってビジネスが進展していく中、コダックは今も、将来も、共に信頼を築くことができるパートナーです。



コダック デジタルシネマ ソリューションに関する詳しい内容については、コダック デジタルシネマ製品の担当者までお問い合わせいただくか、またはウェブサイト: www.kodak.co.jp/go/dcinema までアクセスを。

